

【概要】

様々な疾患の病態生理学的背景や臨床経過を理解することは、薬物治療を実践するに当たって極めて重要である。薬物療法学VIでは、心血管疾患と循環器関連治療薬、体液・電解質や利尿薬などの循環系に関わりの深い疾患について、その病因・病態を理解し、関連する薬物の薬理作用や薬物治療の理論的背景と合理的な医薬品の使用方法を学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による